

令和6年度第10回沼田市教育委員会会議録

1 期日

令和6年12月20日（金）

2 場所

テラス沼田庁議室

3 出席者

竹之内篤教育長、永井和恵委員、武藤英子委員、長谷川清委員、小黒陽子委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

星野盾教育部長、栞原満博教育総務課長、林武史学校教育課長、武井良和生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、阿部勝良スポーツ振興課長、織田澤清子教育総務課長補佐

5 開会宣言（午前9時30分）

6 会議録の承認

7 日程第1 会期の決定

会期は、12月20日の一日と決定

8 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が小黒陽子委員を指名

9 日程第3 教育長報告

（教育長）

各幼稚園小中学校では来週の火曜日に二学期の終業式を迎える。教育委員の皆さんには、二学期においても、沼田市の教育の充実に向けてご尽力いただき感謝申し上げます。

本日は3点、報告したい。

1点目は、小中学校の統廃合に向けた動きについて

これまで適正審の答申を受け、教育委員会で基本方針を策定し、今回お示ししている実施計画の素案につなげてきたところである。また11月19日の川田地区の区長会への説明を皮切りに、本日は全地区の保護者等一般向けの説明会を実施するところであり、計15回の説明会を開催してきた。様々な意見や

要望等が出されているが、意見等をしっかりと受け止め、合意形成を図りながら、丁寧かつスピード感を持って進めていきたい。

2点目は、12月議会について

2人の議員から次の3項目について一般質問があった。

1つ目が、青い目の人形の周知にどのように取り組むのか。

2つ目が、平和教育に今後どのように取り組むのか。

3つ目が、沼田城跡発掘調査総括報告書の進捗状況について

青い目の人形は昭和初期に日米関係が悪化する中で、アメリカから友情のあかしとして、当時12,739体が日本に贈られてきた。戦争中に敵国の人形として焼かれたり壊されたりしたが、本市では白沢小学校と利根小学校に一体ずつ人形が残っている。青い目の人形の活用等については、今後、研究・検討を進め、本市の教育行政の充実に努めていきたい。

3点目は、12月の校長会での指示伝達事項について

大きく次の3つについて指示伝達を行った。

1つ目が教育課程の管理に関わる事項として

児童生徒や教職員の各種授業研究会等や子ども議会 文化祭等での活躍に対する感謝を伝えるとともに、引き続き様々な機会を子供たちの成長に結びつけていけるよう教育課程の充実を図ることをお願いした。

2つ目が人事管理に関わる事項として

人事に関する情報の迅速な連絡と計画を進めていくことを目指し、教育的、意図的な職員の育成ということでお願いをした。

3つ目が服務規律の確保に関わる事項として

学年末・学期末に向けて、個人情報の管理や通知表や入試に関わる書類の作成点検を徹底することについてお願いをした。

(永井委員)

かるた大会に参加したが、子供たちがとても一生懸命に取り組んでいた。伝統的な行事を開催するに当たり、運営の方々には仕切っていただき感謝する。

(武藤委員)

白沢で行われたロードレース大会を応援してきた。時折雪がちらつき、寒い中ではあったが、けがもなく実施できて良かった。

(長谷川委員)

11月後半は学校訪問で沼田北小学校と白沢小学校に出向いた。また、12月はロードレース大会などに参加することができた。

(小黒委員)

10月に白沢地区を会場に中学生の駅伝大会や白沢小学校のマラソン大会が行われたため、地区コミュニティセンター(市民協働課)職員に長距離走の経験者がいたことから、中学生への指導を2回ほど、また、小学校ではマラソンの先導をお願いした。コミュニティセンターの職員であったため、勤務時間内の活動として認められるかと考えていたが、結果として勤務時間では対応でき

ないということで、休暇を取得して協力いただいた経過である。勤務時間内での対応が不可能であれば、例えばボランティア休暇として認めてもらうことはできないか。部活動の地域移行でサポートバンクの登録も始まる中で、市の職員が登録する場合、自分の休暇を割いて協力することになると、市としてはボランティア活動に後ろ向きではないかと感じる。

（教育総務課長）

ご意見については、職員課へつなぎ協議していきたい。

・次回開催日

次回開催を、令和7年1月29日（水）午前9時30分から予定

（教育総務課長）

・1月の主な行事予定について

（学校教育課）

- ・令和6年度中学生のための大学講座（理科）について
- ・ふるさとぬまた未来創造奨学金奨学生の内定について
- ・令和6年度沼田市いじめ防止子ども会議について
- ・令和7年度群馬県公立高等学校入学者選抜日程等について
- ・インフルエンザ、新型コロナウイルスの感染状況について

（小黒委員）

ふるさとぬまた未来創造奨学金の選考委員はどのような方か。

（学校教育課長）

外部の有識者、小中学校の校長、市の庁内からは部長に依頼し、審査委員は合計で6名である。

（生涯学習課長）

- ・市制施行70周年記念事業ミュージカル鑑賞会の開催について
- ・沼田市文化祭及び伝統芸能発表会の結果について
- ・「ふるさと文学賞」及び「全国ふきわれ俳句大会」の入賞者について
- ・沼田市立図書館開館30周年記念文芸講演会について

（文化財保護課長）

- ・市制施行70周年記念事業「大正ロマンノスタルジーフェア」の結果について
- ・歴史資料館第24回企画展「沼田町の時代」の結果について
- ・令和6年度古文書連続講座について
- ・沼田横塚産業団地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（D2地区）業務委託について

（スポーツ振興課長）

- ・第65回利根沼田ロードレース大会の結果について

- ・第４０回沼田市民インドアソフトテニス大会について
- ・第６３回群馬県都市対抗スケート競技大会について
- ・第８１回群馬県都市親善スキー競技大会について

10 閉会宣言（午前１０時１５分）